

	人 数
1 高いと思う	13
2 ふつう	5
3 低いと思う	3

イ 共同研究への個人としての取り組みは、
どうですか。(96%)

	人 数
1 積極的だと思う	12
2 ふつう	9
3 消極的だと思う	1

ウ 全員での研究協議会での発言については
どうですか。(87%)

	人 数
1 多いと思う	8
2 1回は発言する	5
3 近くの人とは話す	4
4 ほとんどしない	3

エ 全員での研究協議会に参加するときの気
持ちは、どうですか。(96%)

	人 数
1 期待感をもって	11
2 あまり期待せず	9
3 やむをえず	2

オ 他学年の検証授業への関心の度合は、ど
うですか。(91%)

	人 数
1 関心が深い	12
2 場合によっては深まる	6
3 自分の学年の番だけ	3

カ 低・中・高各学年ブロック内での仕事の
分担・協力については、どうですか。
(83%)

	人 数
1 進んで協力する	11
2 たのまれれば協力する	2
3 消極的である	6

キ 共同研究のあり方を今後さらに改善して、

研修に意欲的にとりくんでいきたいと思
いますか。(96%)

	人 数
1 はい	20
2 だいたい現状のままでよい	2
3 いいえ	0

ク 学校全体として共同研究は盛り上がっ
ていると感じますか。(91%)

	人 数
1 盛り上がっている	11
2 まあまあである	9
3 盛り上がっていない	1

② 54年度の「共同研究の反省」の再分析

昨年度末(S54.2)に実施した調査(自由
記述法:8項目)の結果に、研修意欲の阻害
要因という視点からもう一度目をとおして
みた。()内は回答頻度数

ア 主題について ~ 適当だが用語の意味内
容を明らかに(3)

イ 研究仮説について ~ 同上(6)、授業・児
童の理想像とそれへのアプローチを明らか
に(3)

ウ 研究教科「算数」について ~ 研究の成
果をそのつど明らかにし、他教科の授業へ
の転移を図りたい(6)

エ 研究組織について ~ 構成はよいが、各
研究部(研究分担)の機能を明らかにし、
連携して研究を進めたい(14)、低・中・高学
年ブロックでの研究を深めて授業研究を能
率的に(9)、学年内の協力を盛んにし、特定
の人(主に授業者)の負担過重を防ぎたい
(8)

オ 授業研究の進め方について ~ 研究協議
の内容が多岐にわたり焦点化されにくい(8)、
研修日(週1回)と研修日との間に研修へ
の関心が薄れてしまう。特に、検証授業に
当たっていない学年(6)、検証授業は学年内
の研究として全員が試行してみることが望
ましい(5)

③ 調査結果の考察

ア 共同研究に限らない総合的な研究への意